

nikkor club

265
2021 SUMMER

特集
みんなで楽しむ
鉄道写真



CONTENTS

002 ニッコールクラブ新年度のごあいさつ

008 特集1 近所も立派な撮影地

みんなで楽しむ！ 鉄道写真

助川康史／浅水浩二
森 誠

016 特集2 ロマンチックな世界へようこそ

マイクロレンズを楽しもう！

ミゾタユキ

コンテスト

- 032 サロン・ド・ニッコール カラーの部
選評：佐藤倫子／小林紀晴
- 044 サロン・ド・ニッコール モノクロームの部
選評：三好和義
- 052 ネイチャー・フォトサロン
選評：大西みつぐ
- 060 チャレンジ・フォトサロン
選評：ハナブサ・リュウ
- 066 総評・得点表
- 068 ワンポイントアドバイス！

連載

- 表2 北の大地から
夏、野生の息吹 半田菜摘
- 020 受賞者の“いま” 第19回三木淳賞
齋藤 茜 文・写真：池谷修一
- 024 アベっちのZの秘密 その8
ファームアップしていますか？ 阿部秀之
- 026 私のライフワーク 第1回
気配 小林紀晴
- 028 エプソン 楽しくきれいにプリント講座 vol.8
自分にぴったりのプリンターの選び方
大浦タケシ
- 031 Let's Go Nikon College！ 第8回
オンライン講座とリアル講座のご紹介
和田直樹

作品

- 004 THE GALLERY企画展
Pirka 半田菜摘
- 006 THE GALLERY企画展
深い沈黙 小林紀晴
- 表4 佐藤倫子×Z 50

製品情報

- 022 PRODUCT REVIEW VOL.15
NX Studio 上田晃司
- 030 おすすめアクセサリを探せ！ 特別編
ニコンダイレクト
特別割引販売のご案内

インフォメーション

- 003 PICK UP NEWS
フルサイズミラーレスカメラZ 9を開発発表！／
待望のZマウント用マイクロレンズが登場
- 069 PHOTOGALLERY INFORMATION
- 070 会員写真展 PickUP！
しま風のいろ 山初律子
山里譚 志岐利恵子
- 072 NCニュース
- 074 イベント年間スケジュール／支部だより
- 075 イベント情報
- 表3 楽しく学べる！ 写真教室 Nikon College

巻末

ニコンダイレクトFAXご注文票
ニッコールクラブ登録情報変更依頼書
会報266号フォトコンテスト応募規定
修理料金割引券のご案内



表紙写真 吉永陽一

郡山といわきを結ぶJR磐越東線は、小野新町駅～小川郷駅間で阿武隈高地の山々を抜ける。線路は夏井川と並走するように右へ左へとカーブして溪谷を縫う。夏井川と夏井溪谷は紅葉で有名だが眩い新緑も魅力的で、白いボディのキハ110系ディーゼルカーによく映える。新緑が美しい5月、私はチャーターしたヘリコプターで福島県を空撮。江田駅付近の溪谷に行くキハ110系を上空からねらった。眩い緑をメインに入れたく、縦位置にして列車を脇役に配した。D800・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR・f/5.6・1/2000秒・ISO640・WBオート

特集① 近所も立派な撮影地

みんな楽しんでむ！

鉄道写真

nikkor
club





大和川河川敷で近鉄南大阪線を撮影。土手には紫色のナヨクサフジが咲き誇り、輝く夕陽とともに印象的にとらえた。大阪市東住吉区の住宅地ではあるが、このように美しい自然風景を撮ることもできる。

Z 6 II・NIKKOR Z 14-24mm f/2.8 S・f/16・1/250 秒・ISO800・WB晴天・ハーフNDフィルター使用／近鉄南大阪線（矢田～河内天美） 写真：助川康史



広島県の瀬戸内海沿いを走る呉線。瀬戸内ブルーが車窓を彩る路線だ。撮影地は国道の跨線橋から撮る有名なポイント。やはり海の青さが鮮やかに出る、晴天の順光時に訪れたいものだ。潮の干満予報も要チェック。

Z 7・NIKKOR Z 70-200mm f/2.8 VR S・f/11・1/400 秒・ISO800・WB晴天・C-PLフィルター使用／呉線（安芸幸崎～忠海）

写真：助川康史

（右ページ）新緑の山々を背に、1両の単行気動車が峠を下ってきた。鉄道車両好きのガチ鉄は車両をアップに撮りたくなるが、ここは我慢。手前まで伸びるレールと背景の山で奥行きを見せ、列車がやってくる期待感を表現した。

Z 6・AF-S NIKKOR 200-500mm f/5.6E ED VR + マウントアダプター FTZ・f/8・1/400 秒・ISO800・WB晴天／宗谷本線（蘭留～塩狩） 写真：助川康史

写真・解説 助川康史／浅水浩二／森誠

鉄道写真というとテクニカルな要素が多く、難しいと思われる方も多いと思いますが、実はのんびり、ゆったりと楽しめる一面もあります。近所の河原や田畑の見える場所も立派な鉄道写真の撮影地です。今回は誰でも気軽に楽しくアプローチできる方法をご紹介します。

鉄道写真家が教える！ おすすめ撮影法 ①

季節の移ろいを感じさせる

鉄道風景写真

助川康史

風景が主題、鉄道は副題

鉄道写真には多くの撮影スタイルがあるが、私がおすすめするのは「鉄道風景写真」。四季折々の美しい風景と鉄道を組み合わせる方法だ。編成写真のような反射神経はさほど必要ない。「風景が主題、鉄道が副題」というセオリーさえ心がければ、後はカメラの性能に任せてシャッターを押すだけという実に簡単な撮影術でもある。

もちろん撮影すれば撮影するほど「この場所は6月の新緑が特に良いのでは？」や「朝の逆光はもっと素晴らしいのではないか？」といったアプローチのこだわりが出てくる。また、それに合わせてピクチャーコントロールやホワイトバランスなど、さまざまな機能を理解してカメラを操ることで「撮った！」というアクティブな楽しさも倍増する。ここで紹介する考え方やテクニクは、ほんの数例だ。撮影地や時間帯、光の具合などによっても設定はまちまち。

撮り方の参考にしながら、訪れた場所でカメラと自身の感性をフルに発揮して、その日その時の最高の光景をあますことなく切り取ってほしい。

「一期一会」の光景を独り占め

鉄道風景を撮ったことはなくても、普段の撮影や旅行先の記録などで自然風景を撮ったことがある人は多いはず。鉄道風景写真はその中に鉄道車両をちよこつと入れるイメージ。撮影地がイドやインターネットで各地の有名撮影地を探して訪れるのもよし、四季を通じて一つの路線を追い続けるのも良いだろう。

季節の移ろいや光線状態ではかの人の作品や以前撮影した作品と同じようになることはまずない。その時に出会った景色、まさに「一期一会」の光景を独り占めできるのが鉄道風景写真の醍醐味。風や匂い、自然が奏でる音など、五感で楽しみながらシャッターを押せば、作品を見返す度に空気感も甦る。

わたらせ渓谷鉄道の雨の風景を撮りたくて、あえて悪天候での撮影を選んだ。夕闇迫る頃になると雨が止み、河原や山肌からは滑昇霧が起き始めた。霧で伸びる列車の前照灯も美しく、思い出に残る一枚となった。

Z7・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR + マウントアダプター FTZ・f/4・1/160秒・ISO1600・WBマニュアル(4500K) / わたらせ渓谷鉄道(沢入～原向)



POINT 1

きめ細やかな フレーミング

余計な物はいれない

自然風景写真とは違い、鉄道風景写真は鉄道が公共交通機関であるがゆえに、沿線に人家や人工物が画面に入ることも多い。また、自由に動くスペースが少ないなど、撮影地の制約もある。だからこそレンズワークを駆使し、構図のバランスを保ちながらも余計な物は画面からなるべく排除するといったきめ細やかなフレーミングが大切だ。標準レンズや広角レンズではその場で立つかしゃがむかでも作品の印象が大きく変わる。余裕を持って現場に到着し、撮影前に色々と試行錯誤しながら最適なポジションを見つけて、本番に臨むと良いだろう。

相模川の上流、桂川を渡る富士急行「フジサン特急」。線路は新緑に包まれているので、やはり白い車両が映える。鉄道車両の車種と色に合わせて、それぞれの風景と最適な組み合わせを見つけたいものだ。

Z 6・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・f/8・1/1000 秒・ISO400・WB晴天／富士急行(田野倉～禾生)

POINT 2

イメージに合わせた ホワイトバランス設定

予想以上の仕上がり!

オートにするのではなく、積極的に変えて撮影時の光を強調しよう。私のおすすめは日中は晴れでも曇りでも「晴天」、夕景は「曇天」や「晴天日陰」。ブルーモーメント時は色温度を変えて青みを強調する。夕陽が出ているときにもあえて青みを出すと予想以上に美しく仕上がることもある。設定は撮って出しのJPEG撮影はもちろん、レタッチ前提のRAW撮影の場合でも重要。レタッチが楽になるだけでなく、撮影時のイメージが残り、記憶の色をたどりながら作業できるからだ。

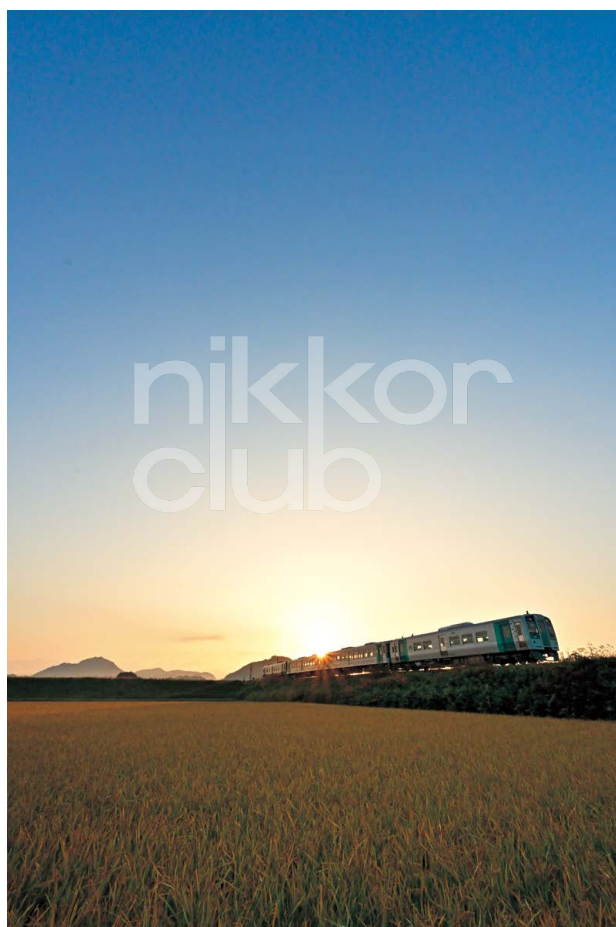
鉄道風景写真でフォトジェニックな朝夕の風景は外せない。そこで重要になるのはWB(ホワイトバランス)。写真をその時の色味に近づけるだけでなく、強調することで作品性を上げることもできる。

Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・f/11・1/1250 秒・ISO1600・WB曇天／高徳線(造田～神前)



PROFILE

すけがわ・やすふみ 1975年生まれ。秋田経済法科大学法学部卒業。東京ビジュアルアーツ写真学科卒業後、鉄道写真家の真島満秀氏に師事。(有)マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ勤務。鉄道車両が持つ魅力だけでなく、鉄道を取りまく風土やそこに生きる人々の美しさを伝えることをモットーに日本各地の線路際をカメラ片手に奮闘中。ニコンカレッジ講師。



景観を楽しめるように大型化した窓が特徴の箱根登山鉄道アレグラ号。紅葉が逆光に輝いていた。真横から流し撮りすることにより、乗務員や乗客の視線までとらえることができた。特等席からの絶景が目に浮かぶ。

D5・AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8E ED VR・f/11・1/60 秒・ISO200・WBマニュアル (5250K)

鉄道写真家が教える！
おすすめ撮影法②

被写体に躍動感を与える

流し撮り

浅水浩二

被写体の動きに合わせる

動感を表す流し撮りは、鉄道写真にトライするのであれば身につけたいテクニックの一つ。どんな流し撮りでも共通するコツは、止めたい車両部分を見つめ続け、被写体の動きに合わせてカメラを振ること。例えば、新幹線ならヘッドライトをファインダーの同じ個所にとらえ続けることだ。流し撮りは中毒性があるようで、イメージ通りに成功すると、さらにスローシャッターを使って撮影したくなる。その場合はNDフィルターを用意してスローシャッター流しを楽しもう。ただ、シャッター速度が遅ければいいというわけではないので、ブレ具合を確認しながらシャッター速度の数値を決めるのも重要だ。

前景と背景も大切

流し撮りは、どの場所でも楽しめる。取材などで時間もなく、撮影場所で

困った時の「流し撮り」と言うことも少なくない。背景をブレさせることで被写体を引き立たせ、浮かび上がらせることができるからだ。ただ、より流し撮りとしてのクオリティを上げるなら、前景や背景を選んで撮影したい。前景があることで列車の疾走感がよりプラスされる。また、空などの単調な背景は、ブレ効果が得られづらいので避けるようにしよう。

PROFILE

あさみず・こうじ 1968年神奈川県生まれ。コマーシャル撮影スタジオ勤務後、独立。鉄道そのものの撮影のみならず、鉄道模型や旅、カメラ雑誌などで幅広く鉄道撮影に関わっている。日本鉄道写真作家協会会員。



POINT 1

シャッタースピードの選択

疾走感を描く

ブレ感、被写体までの距離と焦点距離で変わる。広角レンズではブレ感は大くなり、望遠になる程ブレ感は少なくなる。はじめのうちは広角レンズを使用する時のシャッター速度は速め(1/125秒)を選択するといい。中望遠程度の画角は成功率も高く撮影しやすい。背景は、半逆光または逆光でキラキラ輝いている背景を選ぼう。輝きが光跡となりブレ感がハッキリして写真に立体感も出る。流し撮りは、静止画ならではの表現方法だ。肉眼や動画では味わえない動感あふれる一枚に仕上げよう。



OK

東海道新幹線最新鋭N700Sをズーム流し。カメラを傾けてズーム流しすることによって、臨場感が増した。やはり高速で走る新幹線の流し撮りは難しい。私はシャッター速度1/30秒で成功するまで5回ほどチャレンジした(汗)。

D5・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8G ED VR II・f/4.8・1/30 秒・ISO50・WBオート・ND16フィルター使用

NG

月光のみでISO感度12800で撮影した。シャッター速度1/90秒では新幹線のヘッドライトしか止まっていない。撮影意図にもよるが、もう少し新幹線の輪郭をハッキリさせたい。シャッター速度は遅ければいいというわけではないのがわかる。

D5・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8G ED VR II・f/3.3・1/90秒・ISO12800・WBオート



POINT 2

ズーム流し

ピントはカメラ任せでOK

今やズームレンズ全盛時代。このズームレンズならではの流し撮りがある。列車の動きに合わせてズーミングし、同時にカメラも振ると鉄道車両はピタリと止まり、その他の背景は流れる。これが「ズーム流し」だ。コツは三脚を使用し、パンしながらズーミングに全集中する。さらにビデオ用雲台を使用すれば、スムーズなパンニングができ成功率が上がる。ピントは基本的にAF-Cを使い、カメラ任せでOKだ。鉄道は上下動もなく、一方方向にスムーズに動くので、比較的撮影しやすい。ぜひ、挑戦してみよう。



東横線直通が待ち遠しい相模鉄道。ヨコハマネイビーブルーとグリーンのコントラストが美しい。前景に草むらを入れることによって、疾走感が増した。真横流しでコツをつかんだら、斜めからも挑戦してみよう。

D5・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8G ED VR II・f/11・1/30 秒・ISO50・WBオート・PLフィルター使用

鉄道スナッパ

森誠



朝のラッシュを迎える富山駅。逆光を浴びながら女性運転士がやってきた。とっさの判断で手前にあった花を前ボケに使い、露出は明るめ、ホワイトバランスはブルーを強めに、爽やかさとやさしさを表現した。

Z 6・NIKKOR Z 24-200mm f/4-6.3 VR・f/6.3・1/250秒・ISO200・WBマニュアル・クリエイティブピクチャーコントロール：トイ／富山地方鉄道富山駅

POINT 1

前ボケを取り入れる

先を見つける力

路面電車はたくさんやってくるが、ただそのものを撮っていても記録写真にしかない。スナップ写真として、その先を見つける力を身に着けていくことが大切だ。気になったら、まずはそれだけを撮ってみる。「何か違う」「何か足りない」

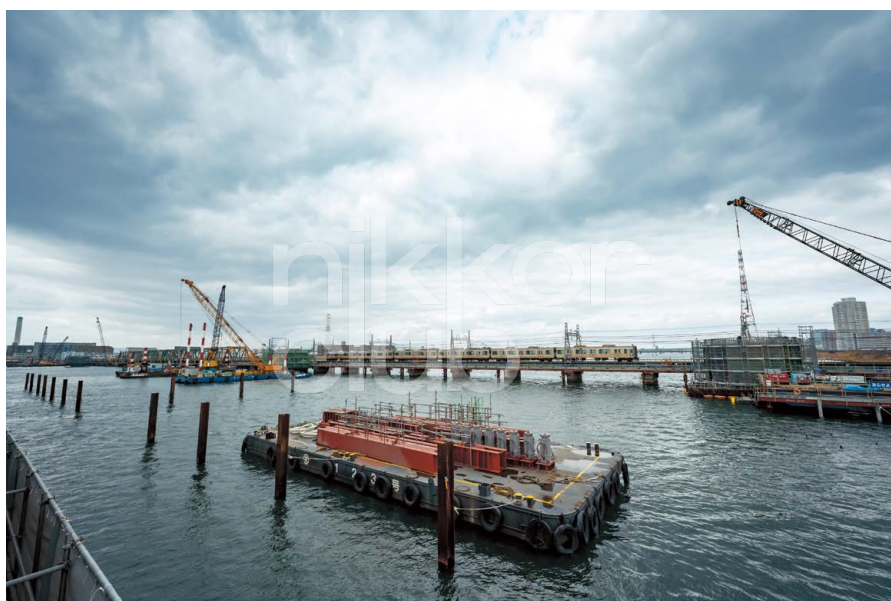
と思ったら、そこからが始まり。手前に花があることはわかっているのだから、どのタイミングで取り入れるかを意識しながら撮影する。動いている電車を追いつながら、運転士の位置と花の位置が被らないように注意したい。そのために前ボケを利用し撮影する時は高速連写にしておくのがおすすめ。

POINT 2

周囲の状況を生かす

ねらいを明確にする

こだわりたいポイントや、鉄道が撮りたいのか、工事現場が撮りたいのかなどのねらいをはっきりさせること。この写真は、歩道のある橋の上から撮影し「消えゆく橋梁」を複雑な気持ちでスナップした。超広角レンズで川の広さや工事の規模を表現し、画面の手前に鉄骨を乗せた船がくるように撮影場所を移動。左奥に対し斜めのラインで奥行き感をつくり構図を整えた。気持ちを表現するために曇り空での撮影にこだわり、列車がブレないようにシャッター速度にも注意した。



歴史的建造物とも言える、新淀川橋梁は約100年の歴史に幕を下ろす。2029年に新しい橋梁が完成予定。水面ギリギリを走る列車や工事の写真は、歴史に残る大切な記録でもあり、鉄道スナップの大切さを物語る。

Z 7 II・NIKKOR Z 14-24mm f2.8 S・f/8・1/1600秒・ISO2500・WBオート・クリエイティブピクチャーコントロール：トイ／阪神なんば線伝法〜福（新淀川橋梁）



この写真のトラス橋は、列車が上部を通行する珍しいタイプで、車両の全貌を撮影することができる。それを生かし、日没後をねらって逆光で撮影。ススキにピントを合わせ、その場の空気感を大切に柔らかく表現した。

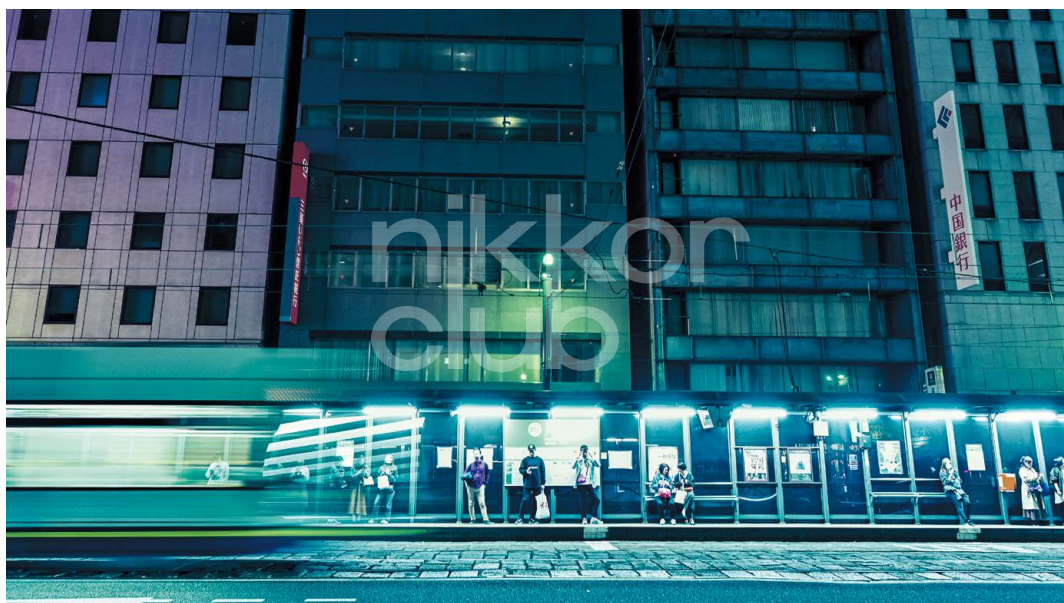
Z 6 II・NIKKOR Z 24-200mm f/4-6.3 VR・f/6.3・1/50秒・ISO1600・WB晴天日陰・クリエイティブピクチャーコントロール：トイ／近鉄吉野線大和上市～吉野神宮（吉野川橋梁）

POINT 3

夕景と組み合わせる

日没後がチャンス

吉野川橋梁では、日没時刻の10分前に夕日は山影へと沈んでいく。その日没後、暗くなり始める頃が撮影のチャンスだ。綺麗なシルエットを写し出すためには、太陽が残っている時間帯より、日没後がおすすめ。ただ、撮影に適した時間はすぐに過ぎていく。ピントを手前のススキに置くと、背景がボケすぎる場合があるので注意する。ススキの柔らかさを表現することにより、まるでその場にいるかのような臨場感を与えてくれる。



広島市の中心部にある八丁堀電停。終電を待つ人たちが、まるでモデルかマネキンのようだった。夜スナップの楽しさでもあるスローシャッターで、乗客に意識されないように、列車が来たときだけカメラを構えた。

Z 6・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・f/5.6・1/30秒・ISO 1600・WB電球・クリエイティブピクチャーコントロール：デニム／広島電鉄八丁堀電停



PROFILE

もり・まこと 1971年生まれ。京都府出身。写真家高橋靖氏に師事。2003年独立。鉄道関係の広告を中心に、TVCMや写真講座、フォトコンテスト審査委員長などで活躍。鉄道のある日常風景を撮影する日々。日本鉄道写真作家協会理事。ニコンカレッジ講師。

POINT 4

夜のスナップにトライ

シャッター速度もポイント

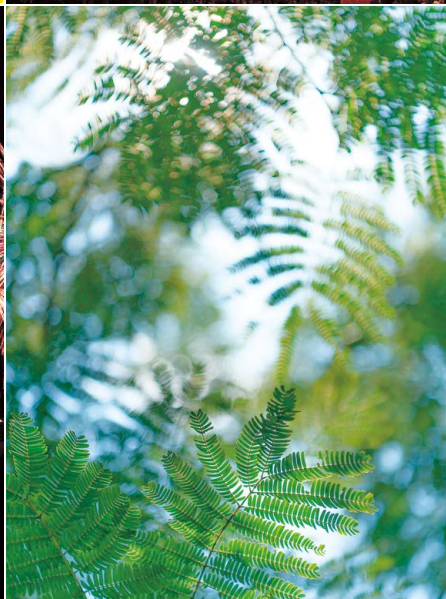
この場所を撮ろうと思ったのは、路面電車を待つ人たちの間隔が気になったからだ。背景になるビル、電停のホーム、石畳、ひとつひとつの素材は違いうのだが、なぜかまとまりを感じた。それを表現するために、真正面に回り込んで、

立体感のない平面的な作品に仕上げようとこだわった。人の並びや間隔、縦横の線を生かし、そこに鉄道写真らしく列車が通るのを待って撮影。列車の流れ具合も考え、手ブレに注意しながらスローシャッターでねらった。さらに高さの表現より横の空間を重視し、画面比率は16:9を選択している。

楽しく学べる!
写真教室

Nikon College

ニコン カレッジ



ニッコールクラブ会員

¥1,000 割引

※割引対象外の講座もございます。
詳細はニコンカレッジWebサイトをご確認ください。

7月・8月・9月講座

6月11日(金)申込受付開始

詳しくはニコンカレッジWebサイトをご覧ください。(6月7日(月) 更新予定)

<https://www.nikon-image.com/nikoncollege/>

ニコンカレッジ

検索



ニコンカレッジは、第一線で活躍中の全国の50名を超えるプロの写真家が講師を務め、どなたでも楽しめる写真教室です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定員を10名以下に設定。受講生の密集を防止してソーシャルディスタンスの確保に努める他、マスク着用と検温やアルコール消毒の徹底、セミナールームの換気等、各種感染防止対策を取って開講いたします。開催エリアは、これまで通り全国7地区※で、平日の日中だけではなく仕事帰りや休日に学べる講座もご用意しております。

7月・8月・9月講座より、ピックアップ!

1 オンライン講座をさらに拡充!

ゲストに大和田良講師をお招きした写真表現のセミナーや、新しいソフトウェアNX Studioの講座、星景写真にチャレンジするためのセミナーや、講師と双方向のコミュニケーションがとれる講評形式の講座などバラエティに富んだ内容で皆様の受講をお待ちいたします。

※東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、福岡で実施

2 日本の夏～初秋を撮りながらレベルアップ!

この季節ならではの風景や情景を撮りながら学べる、さまざまな講座をご用意しました。日本の夏ならではの情景や真夏の花風景、初秋の色付いた自然風景を撮りながら講座ごとの明確なテーマに沿って学ぶことで新しい写真表現を身に付けましょう。

佐藤倫子 × Z 50



Z 50・NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR・f/4.5・1/160秒・ISO100・WBオート1・ピクチャーコントロール：トイ

家のベランダが、いつのまにか
癒しの空間になっている。
広くはないこの環境が、
視点をより研ぎ澄ませてくれるようだ。

ライティングをしながら
片手にZ 50を持つ。
サラッと撮れてしまう
この軽さがうれしい。
花たちも、
何か言いたそうだ。